

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会
「グリーンケア」「調剤報酬解説」
「発生機序から考える副作用チェック」
(2020年6月28日 日曜日)東京開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（CPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号P02）を取得しております。】

改正薬機法では、住み慣れた地域で、患者が安心して医薬品を使うことができるために薬剤師・薬局のあり方が見直されました。薬剤師が、必要に応じて薬剤の使用状況を把握し、服薬指導を行う義務が加えられるなど、医療現場で患者やその家族に、より一層寄り添う取り組みが問われることになりました。本研修会では、患者に寄り添うにあたり、避けられないグリーンケアについて基礎から学び、向き合うことの大切さを考えてもらいます。また、薬剤師の評価に関し、厚生労働省保険局医療課薬剤管理官より地域包括ケアシステムの中で求められる薬剤師のあり方について講義いただきます。午後は、薬剤の副作用について現場で分かりやすく患者に伝えられるためにもその発生機序から考えていただきます。

(細則による必須領域：A, B, C, D, E, F, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会
2	研修期間	2020年6月28日(日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-6-2 アーバンネット神田ビル 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	84名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:2020年6月11日(木) ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 j pca@a-youme.jp

プログラム

2020年6月28日(日曜日)

9:00～	受付
9:20～10:50	<p>①「グリーフケアを考える」</p> <p style="text-align: right;">講師：坂詰大輔</p> <p>「目の前に大切な人を亡くして泣いている人がいます。あなたは空のカプセルを持つ薬剤師です。カプセルの中に何を詰めて渡しますか？」</p> <p>医学、薬学が提供するものは、一人以上の人に適用できるものが原則です。臨床的に有用と謳うためには一般化されなければなりません。しかしグリーフ（悲嘆）とは、人が親しい人、大切なもの、健康などを喪失した時に誰もが体験する「個別な出来事」です。私たちはグリーフを抱えた人にどのように関わればよいのでしょうか。皆さんと一緒に考えてみたいと思います。</p> <p>(細則による必須領域：A, B, C, F)</p>
11:00～12:30	<p>②「令和2年度調剤報酬改定と薬局・薬剤師への期待」</p> <p style="text-align: right;">講師：田宮憲一</p> <p>令和2年度調剤報酬改定は、過去2回の改定と同様に、「患者のための薬局ビジョン」や薬機法等の改正内容を踏まえつつ、「薬局の対物業務から対人業務への構造的な転換を推進するための所要の評価の重点化と適正化」の観点から実施されました。</p> <p>具体的には、調剤料等を適正化する一方で、かかりつけ機能や質の高い外来がん化学療法の評価など様々な対人業務の評価を拡充したところであり、本講では、病院薬剤師との連携も含め、地域包括ケアシステムの中で求められる薬局・薬剤師像について概説します。</p> <p>(細則による必須領域：A, C, I, J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自でご持参ください)
13:20～16:30	<p>③「発生機序から考える副作用チェック～副作用機序別分類～」</p> <p style="text-align: right;">講師：佐藤ユリ、麻生敦子</p> <p>薬剤師の対人業務が強く求められている中で、副作用確認はより重要な業務となってきました。副作用を、早期に発見し適切に対処するためには、患者さん自身に気づいてもらうことが必要です。副作用機序別分類は副作用を発生機序から考え、副作用の発現時期、起きた時の対応を考えやすくしたものです。今回の研修会では、実際に1つの薬剤を例に、添付文書に記載されている副作用を発生機序で分類し、患者さんへ「どの副作用を、どのように伝えていくか？」ディスカッションしていきます。また、副作用確認にも必要となる、薬局窓口で活用できる簡単な薬物動態について少し紹介させていただきます。</p> <p>(細則による必須領域：A, B, C, D, E)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名	坂詰大輔(看護師)	所属	ORIZURU、杏林大学医学部付属病院
氏名	田宮憲一(薬剤師)	所属	厚生労働省保険局医療課 薬剤管理官
氏名	佐藤ユリ(薬剤師)	所属	NPO 法人どんぐり未来塾 代表理事
氏名	麻生敦子(薬剤師)	所属	NPO 法人どんぐり未来塾 副代表理事